



鲁迅

著作全编

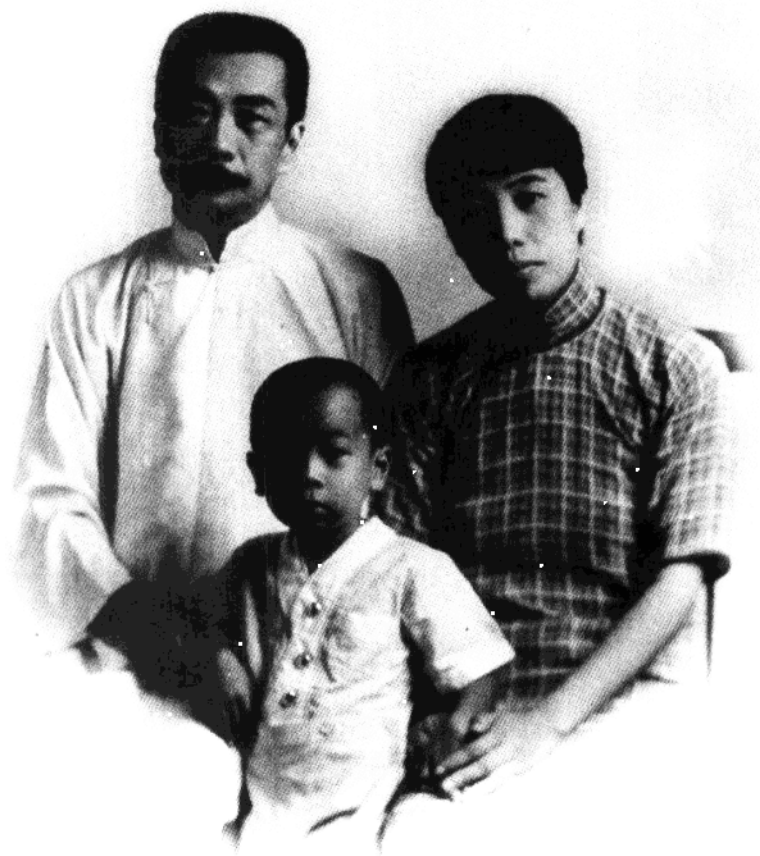
主编：林非 副主编：袁良骏 陈漱渝



五十寿辰时摄(1930)



“海婴与鲁迅，一岁与五十”(1930)



全家福

1933年9月13日攝於上海

母親大人膝下敬稟者。十七日早奉一出。想已到。現男等
 已于十九日回寓。見寓中窗戶。已被炸彈碎片穿破。四
 窗。震碎之玻璃。有十一塊之多。當時雖有友人代為
 照管。但究不知日夜駐守。故衣服什物。已有被竊
 去者。計寢具衣服三件。浴簾衣褲襪子手套等十件。皆
 係實為用毛線自編。廚房用具五件。被一條。被單
 五張。合共值洋七十元。損失尚算不多。兩個用人。
 亦被竊去值洋二三十元之物件。惟男則除不見了一
 柄洋傘之外。其餘一無所失。可見書籍及破衣服。
 偷兒皆看不入眼也。

老三舊寓。則被炸毀。半。門窗多粉碎。但老三之
 物。則除木器被炸破之外。衣服尚無大損。不過
 房子已不能住。所以他搬到法租界去了。

玄同光

久聞大名，如雷貫耳……

非因^此難^維就此為止。所以如此，恭維去，例也。豈
何？通夫路開伴是和如德學校開利大有關
係於社建國利有餘廢？而我創缺少
第五期也，伴以有餘，後送我身，除此
以外，第一不要美，仍界此而無之，勿界此而不
要者也。

這一則圖通利上的沈從文，就是休想，此沈
在用了各種名字，既大獲反意見，既除圖也平心。

庚子見：

兩信均收到，一信中有稿子，自然照例，或做深寒而固
之，心鬼，最怕聽卡教誨，而我偏有要說卡教誨的毛
病，其來主方參行。本來想做一篇詳明的朱老夫子論是
政，而心緒太亂，又沒有工夫。簡截地說一句，就是：他
歷來可盡那都是最壞的，不做一點小事，就冒進事，所以
他的信則是不負責任的，得到別人被禍，他不作聲了。
羣衆還過此山，由來久矣，將來也不過如此。公理也和事
之成敗無涉。但是，老師之教書也不下懷了，只兒暗中
活動之鬼，而竟沒有說出來說話的人。我近來對於蔡
先生之說，西山，也有些懷疑了，但也许真，恰巧
之者倒是我自己的神迷迷敏。
我現在愈加相信說話和弄筆的都是不中用的人，無
論什麼話，如何有理，文章如何動人，都是空的。他

们即使失败，事实上却落得胜利。——
上边共产党人：我还要反抗，做他一试。

我起疑心，就使我记起前西三年被北大开除的通告。他是个平庸的人，从来不曾发表过什么，却是一个同辈中起。他那时曾在晨报副刊上做过一篇杂感，意思是说：『我为国家祈福，祝了神道之后，国家就灭亡了。』

聽說學校當局有打電報給家戶之類的舉動，我以為這似乎太毒辣了。教員之類該有一番宣言，說明事件的真相，幾個人也可以的。如果沒有一個人名負這一監責任（署名），那麼，即使校長竟去，學務也壞了，也不如走開，全校沒有人了，還有什麼了不得。

學

五十六

目 录

两地书

一九二五年

(一)一九二五年三月十一日	(33)
(二)一九二五年三月十一日	(35)
(三)一九二五年三月十五日	(37)
(四)一九二五年三月十八日	(40)
(五)一九二五年三月二十日	(41)
(六)一九二五年三月二十三日	(44)
(七)一九二五年三月二十六日	(45)
(八)一九二五年三月三十一日	(47)
(九)一九二五年四月六日	(49)
(十)一九二五年四月八日	(53)
(十一)一九二五年四月十日	(55)
(十二)一九二五年四月十四日	(58)
(十三)一九二五年四月十六日	(60)
(十四)一九二五年四月二十日	(61)
(十五)一九二五年四月二十二日	(63)
(十六)一九二五年四月二十五日	(65)
(十七)一九二五年四月二十八日	(68)
(十八)一九二五年四月三十日	(70)

(十九)一九二五年五月三日	(73)
(二十)一九二五年五月九日	(75)
(二十一)一九二五年五月十七日	(76)
(二十二)一九二五年五月十八日	(77)
(二十三)一九二五年五月二十七日	(78)
(二十四)一九二五年五月三十日	(80)
(二十五)一九二五年六月一日	(82)
(二十六)一九二五年六月二日	(83)
(二十七)一九二五年六月五日	(84)
(二十八)一九二五年六月十二日	(86)
(二十九)一九二五年六月十三日	(87)
(三十)一九二五年六月十七日	(89)
(三十一)一九二五年六月十九日	(91)
(三十二)一九二五年六月二十八日	(93)
(三十三)一九二五年六月二十九日	(95)
(三十四)一九二五年六月三十日	(96)
(三十五)一九二五年七月九日	(97)
(三十六)一九二五年七月十三日	(98)
(三十七)一九二五年七月十五日	(101)
(三十八)一九二五年七月十五日	(102)
(三十九)一九二五年七月十六日	(103)
(四十)一九二五年七月十七日	(105)
(四十一)一九二五年七月三十日	(107)

一九二六年

(四十二)一九二六年八月十五日	(111)
(四十三)一九二六年九月四日	(111)
(四十四)一九二六年九月六日	(112)
(四十五)一九二六年九月八日	(116)
(四十六)一九二六年九月十二日	(117)
(四十七)一九二六年九月十一日、十三日	(118)
(四十八)一九二六年九月十二日、十四日	(118)
(四十九)一九二六年九月十七日	(121)
(五十)一九二六年九月十八日	(121)
(五十一)一九二六年九月二十日	(123)
(五十二)一九二六年九月二十二日	(125)
(五十三)一九二六年九月二十三日	(126)
(五十四)一九二六年九月二十五日、二十六日	(129)
(五十五)一九二六年九月二十八日	(131)
(五十六)一九二六年九月三十日	(134)
(五十七)一九二六年九月二十八日、三十日	(136)
(五十八)一九二六年十月四日	(138)
(五十九)一九二六年十月四日	(140)
(六十)一九二六年十月七日	(143)
(六十一)一九二六年十月十日	(144)
(六十二)一九二六年十月十日	(146)
(六十三)一九二六年十月十四日	(149)

(六十四)一九二六年十月十二日、十五日	(151)
(六十五)一九二六年十月十六日	(154)
(六十六)一九二六年十月十八日	(156)
(六十七)一九二六年十月二十日	(157)
(六十八)一九二六年十月二十一日	(160)
(六十九)一九二六年十月二十二日	(161)
(七十)一九二六年十月二十三日	(163)
(七十一)一九二六年十月二十一日、二十三日	(164)
(七十二)一九二六年十月二十七日	(167)
(七十三)一九二六年十月二十八日	(169)
(七十四)一九二六年十月二十九日	(171)
(七十五)一九二六年十月三十日	(172)
(七十六)一九二六年十一月一日	(173)
(七十七)一九二六年十一月三日、四日	(175)
(七十八)一九二六年十一月四日	(177)
(七十九)一九二六年十一月七日	(179)
(八十)一九二六年十一月六日、七日、八日	(181)
(八十一)一九二六年十一月九日	(184)
(八十二)一九二六年十一月十一日	(185)
(八十三)一九二六年十一月十三日	(192)
(八十四)一九二六年十一月十四日	(193)
(八十五)一九二六年十一月十五日	(194)
(八十六)一九二六年十一月十五日	(196)
(八十七)一九二六年十一月十六日	(200)
(八十八)一九二六年十一月十七日	(202)
(八十九)一九二六年十一月十八日	(203)

(九十)一九二六年十一月二十日	(205)
(九十一)一九二六年十一月二十一日	(207)
(九十二)一九二六年十一月二十二日	(208)
(九十三)一九二六年十一月二十五日、二十六日	(211)
(九十四)一九二六年十一月二十七日	(213)
(九十五)一九二六年十一月二十八日	(215)
(九十六)一九二六年十一月三十日	(217)
(九十七)一九二六年十二月二日	(218)
(九十八)一九二六年十二月二日	(220)
(九十九)一九二六年十二月三日	(222)
(一〇〇)一九二六年十二月六日	(223)
(一〇一)一九二六年十二月六日	(225)
(一〇二)一九二六年十二月七日	(226)

附:欢迎鲁迅先生来广州

(一〇三)一九二六年十二月七日	(229)
(一〇四)一九二六年十二月十一日	(231)
(一〇五)一九二六年十二月十二日	(232)
(一〇六)一九二六年十二月十二日	(235)
(一〇七)一九二六年十二月十五日	(237)
(一〇八)一九二六年十二月十四日、十五日、十六日	(238)
(一〇九)一九二六年十二月十九日	(241)
(一一〇)一九二六年十二月二十日	(243)
(一一一)一九二六年十二月二十日	(244)
(一一二)一九二六年十二月二十三日	(245)
(一一三)一九二六年十二月二十三日	(246)
(一一四)一九二六年十二月二十四日	(247)

(一一五)一九二六年十二月二十七日 (248)

(一一六)一九二六年十二月二十九日 (251)

附:孙伏园致鲁迅

(一一七)一九二六年十二月三十日 (253)

(一一八)一九二六年十二月三十日 (254)

一九二七年 一九二九年

(一一九)一九二七年一月二日 (259)

(一二〇)一九二七年一月五日 (260)

(一二一)一九二七年一月五日 (262)

附:孙伏园致鲁迅

(一二二)一九二七年一月六日 (264)

(一二三)一九二七年一月七日 (265)

(一二四)一九二七年一月十一日 (267)

(一二五)一九二七年一月十七日 (269)

(一二六)一九二九年五月十四日 (269)

(一二七)一九二九年五月十五日 (272)

(一二八)一九二九年五月十五日、十六日 (273)

(一二九)一九二九年五月十七日 (274)

(一三〇)一九二九年五月十七日 (276)

(一三一)一九二九年五月十八日、十九日 (277)

(一三二)一九二九年五月二十日 (279)

(一三三)一九二九年五月十九日、二十一日 (280)

(一三四)一九二九年五月二十一日 (282)

(一三五)一九二九年五月二十二日	(283)
(一三六)一九二九年五月二十三日	(284)
(一三七)一九二九年五月二十二日、二十三日	(286)
(一三八)一九二九年五月二十四日	(287)
(一三九)一九二九年五月二十五日	(288)
(一四〇)一九二九年五月二十五日、二十六日	(289)
(一四一)一九二九年五月二十七日	(291)
(一四二)一九二九年五月二十七日	(292)
(一四三)一九二九年五月二十八日	(293)
(一四四)一九二九年五月二十九日	(295)
(一四五)一九二九年五月二十九日、三十日	(296)
(一四六)一九二九年五月三十日、六月一日	(297)

一九三二年

(一四七)一九三二年十一月十一日	(303)
(一四八)一九三二年十一月十二日	(303)
(一四九)一九三二年十一月十三日	(305)
(一五〇)一九三二年十一月十三日	(305)
(一五一)一九三二年十一月十四日	(306)
(一五二)一九三二年十一月十五日、十六日	(307)
(一五三)一九三二年十一月十六日	(309)
(一五四)一九三二年十一月十八日	(310)
(一五五)一九三二年十一月十九日	(311)
(一五六)一九三二年十一月二十日	(312)
(一五七)一九三二年十一月二十日	(313)

(一五八)一九三二年十一月二十一日	(314)
(一五九)一九三二年十一月二十三日	(315)
(一六〇)一九三二年十一月二十三日	(316)
(一六一)一九三二年十一月二十四日	(317)
(一六二)一九三二年十一月二十五日	(318)
(一六三)一九三二年十一月二十五日、二十六日	(319)
(一六四)一九三二年十一月二十六日	(320)
书后说明	(323)

书 信

致马子华	1935 年 11 月 11 日	(327)
致王正朔	1936 年 8 月 18 日	(327)
致王乔南	1930 年 10 月 13 日	(328)
	1930 年 11 月 14 日	(328)
致王志之	1932 年 12 月 21 日	(329)
	1933 年 1 月 9 日	(330)
	1933 年 2 月 2 日	(331)
	1933 年 5 月 3 日	(331)
	1933 年 5 月 10 日	(332)
	1933 年 6 月 26 日	(332)
	1933 年 12 月 28 日	(333)
	1934 年 5 月 11 日	(334)
	1934 年 5 月 24 日	(335)
	1934 年 5 月 28 日	(336)
	1934 年 6 月 6 日	(337)
	1934 年 6 月 24 日	(337)

	1934 年 7 月 7 日	(338)
	1934 年 9 月 4 日	(339)
	1934 年 12 月 23 日	(339)
	1934 年 12 月 28 日	(340)
	1935 年 1 月 18 日	(341)
	1935 年 9 月 19 日	(341)
致王余杞	1929 年 11 月 26 日	(342)
致天下篇社	1934 年 3 月 16 日	(342)
致王冶秋	1935 年 11 月 5 日	(343)
	1935 年 11 月 18 日	(344)
	1935 年 12 月 4 日	(345)
	1935 年 12 月 21 日	(346)
	1935 年 12 月 29 日	(347)
	1936 年 1 月 18 日	(347)
	1936 年 4 月 5 日	(348)
	1936 年 5 月 4 日	(349)
	1936 年 7 月 11 日	(350)
	1936 年 9 月 15 日	(351)
致王育和	1932 年 4 月 7 日	(352)
致王熙之	1933 年 10 月 21 日	(353)
	1933 年 12 月 26 日	(353)
致开明书店	1932 年 3 月 16 日	(354)
	1933 年 3 月 11 日	(354)
	1933 年 8 月 30 日	(355)
	1933 年 9 月 8 日	(355)
致韦丛芜	1927 年 3 月 15 日	(356)